SAIN

健康な住まいと
暮らしのサイン

2023 Autumn

78

ちいさな秋に心色づいて



KAIKEN



はじめのSAiN

森の巨人たち

英彦山の鬼杉

福岡県田川郡◉林野庁選定 国有林樹木百選から

林野庁が選定した「森の巨人たち百選」の中から、「杉」の名木をご紹介する「はじめのSAiN」。2回目は、福岡県田川郡添田町の「英彦山（ひこさん）の鬼杉」。標高1199mの英彦山は、耶馬日田英彦山国定公園の一部で、日本百景にも選ばれています。古くから山岳信仰の聖地で山伏が修行する修験道として名高く、奈良の大峯山、山形の出羽三山と並び日本三大修験山の一つといわれています。

「英彦山の鬼杉」は、樹齢1200年以上といわれ、幹の周囲は約12・4m、上部が落雷で欠損していますが、高さは約38mあります。

昔々、鬼たちが住処を求めて英彦山にやって来ましたが、権現様にごまかされて退散することになりました。鬼の首領は杉の杖を大地に突き刺し、去って行きました。そこから芽が出て巨木となったのが、この「鬼杉」という言い伝えです。

SAiN

2023 Autumn 78

サイン2023年秋号をお届けいたします
暑い暑い日々もいつの間にか過ぎ去って　実りの時がやってきます
天高く星空を見上げてみれば人の営みはちいさいですが　ゆえにまた愛おしく
めぐる季節にあらたな感覚が目覚めていくように
めくるサインのページに　新しい何かや懐かしい何かが見つかりますように

SAiN 78号 目次

1 はじめのSAiN

3 ［SAiN特集］
OPEN HEART　こころひらける暮らし　沖縄篇3

5 空気がうまい家 全国体感録
心まで晴れやかになる大空間を体感する家

9 施主 渋谷浩一郎様エッセイ
四季めぐる空気がうまい家

11 おもやの食卓
秋の旬食材　いちじく

14 SAiNエッセイ
地球の恵み　自然の恵み

15 住まいと健康のいい関係
「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない？

16 カイケンブランド
健康自然建材

17 こだわりプレゼント・編集ほのぼの後記

COVER STORY



「時を超える価値のある暮らし」というテーマでお届けしている『SAiN』。2023年秋号の表紙は、秋の旬食材「いちじく」と、どちらも1960年代にスウェーデンで作られた、アンティークのタペストリーとレシピ本です。
タペストリーは、南スウェーデンで古くから伝わるツヴィスト刺繍で描かれた鳥と花の図案が美しく、丁寧な手仕事の温もりが伝わってきます。レシピ本は、スウェーデン各地の郷土料理のレシピが掲載され、それぞれのページに料理や暮らしの様子をユーモアたっぷりに描いた挿絵が入り、眺めるだけでも楽しいひと時が過ごせます。
この秋は、本の中の料理を試す「書と食の秋」というのも、いいかもしれませんね。

『SAiN』のお申し込みなどはWEBサイトで。
https://www.e-kaiken.com/sain/

©KAIKEN CORPORATION

OPEN HEART



こころひらける暮らし

沖縄県沖縄市 F様

沖縄篇 vol.3

自然の命が生きている素材を愛し、いろいろな物事や考え方を尊重して共存していこうという「OPEN HEART」な暮らしをご紹介している特集企画。vol.3は、vol.1＆2でもご紹介させていただいていた、沖縄市にお住まいのF様です。素敵なご縁で生まれ変わったお住まいと、その暮らしとは？

SAiN76号（前々号）の特集でご紹介した名護市のS様が、音響熟成木材と幻の漆喰を知ることになった場所は、今回ご紹介するF様が運営されている整体サロン（写真左下）でした。

F様がこの自然素材をお知りになったのは、SAiN77号（前号）でご紹介した浦添市のM様と同じ場所、読谷村（よみたんそん）のサロンでした。

そして、この特集でご紹介している方々の家づくりを行われたラムハウジングのご担当者さんは、F様が中学校で家庭科の教員をされていたときの教え子でした。

奇跡のようなご縁がつながって、F様のご自宅はリフォームで生まれ変わることになりました。



F様邸は築33年のコンクリート住宅。1階は駐車場で2・3階が住居。

整体師のF様は、東京オリンピック期間中に現地へ出張の予定で、その期間を利用して、開店から12年を経ていた整体サロンを移転される予定でした。

しかしコロナ禍に見舞われ、オリンピックは延期、サロンの先行きも不透明になり、移転を断念。「移転ができないならリフォームしよう」と思い立たれました。

自然素材を使った整体サロンのリフォームにとても満足されたF様は、かねてから考えられていたコンクリート3階建てのご自宅リフォームの実行も決意されます。

築33年の住まいの老朽化と不便を解消し、「たまりにたまったものを断捨離してすっきりしたい」というご希望がありました。



ご自宅に先駆け、2020年にリフォームされたF様の整体サロン。

スッキリして、湿気もなくなって、すごい快適です。

音響熟成木材と幻の漆喰を選んだ最大の決め手は、ラムハウジングさんご提案のさつま工場での体感見学とセミナーだったそうなのですが、この時ご一緒されたのが、前号に登場された浦添市のM様たちでした。この日、みなさまの「縁」が「絆」になっていったのかもしれません。

「ものを置かない」というこだわりを基本に、F様とお母様のリフォームプランは明確で、「部屋の仕切りや廊下をなくしてオープンに」「収納を広く」「ここに棚を作ってほしい」など、しっかりと決めていらっしゃいました。

リフォームはスムーズに進み、約3ヶ月で完成。子ども部屋や廊下の間仕切りなどを無くし、Pタイル（プラスチック樹脂タイル）だった床を38ミリ厚の音響熟成木材うづくりフローリングに張り替え、プリント合板の板壁は幻の漆喰で新たに塗り直されました。

F様邸は、広々として明るく、木の香りが気持ちのいい住空間に生まれ変わりました。



（写真右から）ドアを開けると木の香りが広がる玄関は、音響熟成木材を使った姿見も素敵です。ダイニングキッチンは、明るくスッキリ広々と。お母様に合わせて寸法がリメイクされたキッチンは、使いやすく、お手入れもラクに。自然の表情が美しい、高く広く見えるように縦張りにした音響熟成木材の壁。天井を白い漆喰にすることで、室内がひときわ明るくなりました。

実際に暮らしてみての実感は、コンクリート住宅特有の「湿気がなくなった」こと。お住まいがとても気持ちよくなったせいか、よくお客様もいらっしゃって、長居されるそうです。

「端材も財産」とおっしゃるF様は、沖縄の空気がうまい家にお住まいの方々とご一緒に、音響熟成木材の端材をより価値のあるものとして再利用する「アップサイクル」の活動にも取り組まれていらっしゃいます。

F様のお住まいで感じたのは、木材や漆喰が艶やかで美しいこと。F様やお母様の「自然素材に対する愛情」がこの輝きを生み、その輝きは時と共にますます味わいを増していくのだと思います。

音響熟木材の端材まで大切にしていただき、本当にうれしいです。沖縄の方々のアップサイクル活動は、インスタグラム（下QR）でご覧いただけます。F様ありがとうございました！

SAiN WEB版では、ここではお届けできなかった内容など、さらに深掘りしてご紹介します。どうぞお楽しみに。



（写真右から）冬は寒くて冷たかったタイル貼りのお風呂も、温泉宿のような木のお風呂に。開けなくなっていた出窓をふさいで飾り棚に。缶を利用した「カンカン三線」。リフォーム前のものを天井にいかした木彫りの欄間。音響熟成木材を使ってリメイクされた鏡。見事なツヤが出ている無垢・無塗装のフローリング。F様は音響熟成木材の端材も大切にされています。

私たちの空気がうまい暮らし

Enjoy More Story

◀「私たちの空気がうまい暮らし」では、それぞれの暮らしをご紹介しています。F様のお話も、リフォーム前の様子などまた別のアプローチでお届けいたしますので、こちらもどうぞご覧くださいませ。

音響熟成木材・幻の漆喰・清活畳を使用した、家族にやさしい「空気がうまい家」。
全国に広がるその魅力をご紹介します。

心まで晴れやかになる大空間を体感する家

Clear Heart
Spacious
Natural
Home

鹿児島県 薩摩川内モデルハウス

2023年の7月に誕生したばかりの薩摩川内モデルハウス。
23畳もの大空間LDKに屋根付きのアウトドアダイニングスペースが隣接。
開放感がいっぱいで、心まで晴々する約39坪の平屋邸宅です。







SATSUMASENDAI
SINCE 2023

23畳の広々としたLDKには、左手の屋根付きアウトドアダイニングスペースと右手の和室が隣接しています（写真上）。深い庇が屋内外をつなぐ、贅沢に空間を使ったスタイリッシュで気持ちのいい平屋邸宅です（写真右／左）。玄関の土間空間まわりにLDKと和室が配置されていて、LDKへの引戸と和室の襖を開ければ、より開放的な空間が広がります（写真左奥）。玄関には便利な収納も設けられています（写真左から2つめ）。



Next



キッチンから眺めたLDK。襖を開け放った和室と一体化し、開放感が広がります。ご親族の集まりやご友人を招いたホームパーティーなど、賑やかな時が充実しそうですね。

見えないものの中に
たいせつなものを見る

4～5人家族の間取りプランをベースに、南側のLDK近くにご両親のお部屋をプラスして、三世代が一緒に暮らせるように設計された薩摩川内モデルハウス。23畳の大空間LDKは、木の香りがいっぱいに広がって、自然素材が生み出す心地いい空気に満たされています。LDKには和室と屋根付きのアウトドアダイニングスペースが隣接していて、襖や窓を開け放つと、計算されていた風通しと採光の良さがますます際立って、この上ない開放感です。

中国随筆文学の傑作といわれる、清朝時代の沈復（しんふく）による『浮生六記（ふせいろっき）』の中に、「小中見大、大中見小（小の中に大を見る、大の中に小を見る）」という言葉があります。ここでいう「見」は「測」ということでもあり、目を手のように使って、大きさ、硬軟、粗さ、柔らかさ、深さなどを感じることが大切、ということです。

家のよしあしも、見た目だけでは決して分かりません。素材の手ざわり、においや風や光の感触、空気感など、目には見えないものも、とても大切です。

薩摩川内に生まれたこの住空間は、「見えない価値」を感じて確かめることができる、とっておきの場所です。



開けてよし、閉めてよしの日本家屋の伝統的な「引戸」や「襖」が、空間の使い勝手を自由自在にしてくれます。スペースも無駄なく存分に使えて、住空間はさらに豊かに。



空間の豊かさだけでなく、無垢・無塗装の自然素材の美しさもこの住まいの魅力。年を重ねるごとに味わいを増していく、何ものにも変えがたい経年価値があります。



キッチンの奥には、造り付けの収納棚。たっぷり収められる便利でうれしいサイズですね。無垢・無塗装の木材と天然素材のみの漆喰だから、安心・安全です。



自然素材で寝室もひときわ快適に。「空気がうまい家」にお住まいの方からは、「寝つきがよくなった」「朝までぐっすり眠れる」といった声を多くいただきます。



「見せる」収納の造り付け棚と、「しまう」収納のキャビネット。どちらも住まいの素材と同じ木材だから、空間に素直で素敵に溶け込んでいます。



焼杉の音響熟成木材「黒」を使って、品のいい落ち着きのある空間に仕上げられた和室。最近は少なくなってきた仏間と床の間も設けられ、品格もただよいます。



たっぷり収納できるウォークインクローゼットは、木のアロマが天然の芳香剤。収納しているだけで、ナチュラルないい香りが衣服をつつみます。



子どもたち向けのかわいい机と椅子が置かれた個室。漆喰の白壁が生み出すやわらかい光と、さわやかな木の香りが一緒になった、優しい居心地のお部屋です。



自然の調湿作用を持つ木と漆喰が快適さを保ってくれる洗面室。L字型のカウンターは使いやすくて、タオルなどを収納できる棚もうれしいですね。

「空気がうまい家」の施工例はWEBサイトでもご覧いただけます。

施主様からの特別寄稿

四季めぐる空気がうまい家

文◉渋谷浩一郎様

誰もがなぜか大好きなあの金属音

～「なぜ」が分からないから面白い～

京都府宇治市で空気がうまい家にお住まいの渋谷様ご家族。四季めぐるその暮らしを、施主様ならではのエッセイにしてお届けいたします。



I Don't Know Why
but I Love Wok

中華鍋セットで購入。中華鍋・お玉・ササラ・中華鍋用の五徳。

「まらなく暑いですね。」

こんな会話が、何度も繰り返され、ニュースでも全国各地の暑さや熱中症対策が常に話題となっていた夏が終わろうとしています。

もちろん、暑さが厳しいのは大変なことですが、「暑い」と言っていても仕方がないので、少しでもプラスに考えられないのかなぁ…なんて思ったものです。

少し視点を変えると、「暑い」ということは、ふんだんにエネルギーが降り注いでいる状態。だから、暑さの恩恵を今のうちに保存できれば、楽しいのではないか？そんなことを考えて、せっせと椎茸を干す日々を過ごしていました。

干し椎茸の賞味期限はおよそ一年ですから、まさに「暑さのエネルギー」を冬まで貯めることができる優れものだと思います。

こんな発見に喜んだ夏でしたが、実は、こんな話よりも我が家に遊びに来られた方が注目し、興味をもたれたのが「中華鍋」だったのです。

なぜか、誰もが大好きな中華鍋

コンコンコン・カンカン！

中華料理店に行くとこんな音が響き、厨房の中が見えるお店だと、思わず見入ってしまいます。こんな習慣があるのは、私だけではないようです。YouTubeを見ても、中華料理店の厨房の様子が撮影された動画はたくさんあり、どの動画もたくさん再生されています。

- 職人さんの素早い動き。
- 中華鍋一つで、炒め物・煮物・揚げ物など何でもできる。
- 時々見られる火柱。
- ササラ(中華鍋を洗う竹のブラシ)で洗う豪快さ。

こうしたものが私たちを魅了させるのでしょう。中華鍋の歴史は、約二千年もあり、私たち人類と長いお付き合いをしてきたために、多くの人が関心を寄せてしまうという本能の様なものをもっているのかもしれません。

中華鍋は格好いいけれど憧れの存在

あなたも、これまでに「一度でいいから中華鍋で炒飯を作ってみたい」と思ったことがあるのではないでしょうか。

私もこれまでに何度かそう思ったことがありますが、一般家庭のガスコンロでは、使えないイメージがあり、購入の検討さえしたことがありませんでした。

ところが、家庭用の五徳(ごとく)に重ねて置くだけで、中華鍋が置ける五徳があることを発見し、ついに中華鍋を購入しました。

既に家庭で中華鍋を使い続けている知人も、「いい選択だ。キッチンに立つのが楽しくなるし、使うほど良くなる感じがたまらないぞ。」なんて言うものですから、もう我慢できない状態になったのです。



Everyone Loves Wok
Everyone Needs Wok

全然、イメージ通りに鍋が振れない！

中華鍋が、我が家にやってきたら、早速、シーズニング(中華鍋を空焼きして油を馴染ませる作業)を丁寧にして、炒飯に挑戦してみたのですが、綺麗にご飯が返ってきません。ご飯は、コンロの周りに飛び散る上に、パラパラとは程遠い状態です。

これが、もう、悔しくて、悔しくて。

タオルで練習したり、塩を焼いてみたりしましたが、全く上手くいきません。「物理学による最高のチャーハンの作り方」なんていう論文も読みましたが、上手になる気配が感じられない日々が続きました。それでも、

「練習をすれば、必ず上手くいく日がやってくるはずだ。」

何度も自分に言い聞かせながら、とにかく調理は何でも中華鍋を使うことにしたのです。

不思議なもので、二ヶ月くらい経つと、職人さんほど早く鍋を振ることはできませんが、炒飯のご飯をこぼしてしまうことは無くなりました。もちろん、野菜炒めなどを作っても、うまく返すことができる様になってきました。

ただ、困るのは、

「何で少し上手になったのか？」

と聞かれても、答えることができないことです。敢えていうなら、「フライパンと私の相性が良くなってきた」としかいいようがありませんが、実は、そんなことって、生活をしていると様々なところである様な気がします。

近年は、いろいろなことがデータ化され、分析的に見る機会が多くなってきました。もちろん、こうした見方は私も大好きなのですが、その一方で、「よく分からないけれど、何となく…」という感覚も大切にしろよと、中華鍋が教えてくれた様に思うのです。二千年もの歴史あるものの言葉には、相当な重みがあります。

もちろん、鍋自体も鉄製なのでなかなかの重量があります。

後片付けも楽しいのが中華鍋の魅力

中華鍋に限った話ですが、中華鍋は洗剤で洗いません。その代わりに豪快にサササで洗います。ちょっと乱暴で豪快な感じが、職人さんに近い様な気がして楽しいものです。

そして洗い終わった中華鍋はすぐに火に掛け、水分が飛んだら油を塗っておきます。

ちょっと手間がかかりますが、「鍋を育てる」という言葉の意味が深く味わえる瞬間でもあります。

炒飯を作るためにわざわざ炒飯用に炊飯する…手間が少しかかりますが、確実に出来が変わります。ぜひ、チャンレジしてみてください。

パラパラの炒飯を作るコツ

一般的なフライパンでも中華鍋でも同じ。

❶炊飯が大事

ご飯を炊くときに、通常の水分量の8割の量で炊く。

(例)五合のお米を四合の水分量で炊く。炊き上がると固そうに見えますが、炒飯にするとちょうどいい感じに。かなりパラパラになります。

❷温かいご飯を使う

冷やご飯を使うとフライパンの温度が一気に下がります。炒める直前まで保温されていたご飯か、温めたご飯を使おう。

❸卵が多いほど炒めやすい

炒飯がパラパラになるのは、卵がご飯をコーティングするためです。そのため、卵は多めにすると綺麗に仕上がりやすいです。





◀こちらでも渋谷さんの自然にまつわるコラムがお読みいただけます［カイケン 自然発信基地］で検索

季節を味わう

おもやの食卓

なんでもいつでも揃う
いまこの時代に、
あらためて「旬」のものを
見直してみたいと思います。
旬のものは、体にいいし、
なんといっても、
みんなでおいしく
いただけますから。





秋の旬食材　いちじく

「世界最古のフルーツ」といわれるいちじくは、アラビア半島南部が原産で、6000年も前から栽培されていたといわれます。旧約聖書の『創世記』で、アダムとイブが肌を隠したのも、いちじくの葉でした。

「不老長寿の果物」とも呼ばれていて、食物繊維の一種のペクチン、カルシウム、マグネシウム、鉄分、カリウム、ポリフェノールの一種のアントシアニンなど、たくさんの栄養素を含んでいます。

花が咲かずに実をつけるように見えることから「無花果」と書きますが、実の中に隠れて、花のようには見えない花が咲くのだそうです。

ヘタの部分まで赤くなり、指で軽く押してみて、中の部分までやわらかくなっていると食べごろです。

そのままでも美味しいですが、クリームチーズと合わせたり、甘露煮やジャムにしてもいいですね。



ココットの中に実った おいしい秋みつけた

いちじくは、皮にハリがあって、シワがなく、切り口が乾燥していないものを選ぶのがポイントです。

今回は、いちじくの赤ワイン煮にくるみをプラスして、フランス・ブルターニュ地方の伝統的な焼菓子「ファーブルトン」をつくります。

比較的かんたんにつくれて、モチモチした食感がおいしい一品です。

春夏秋冬、旬のフルーツでアレンジしてみても楽しめます。今号のレシピではココット型を使いますが、マフィン型、丸いケーキ型、縦長のパウンドケーキ型でもつくれます。

みなさんのすてきなアイデアで、「わが家流」のオリジナルファーブルトンを楽しんでみてください。

料理　柴田 佳世子

福岡県福岡市生まれ。京都女子大学短期学部家政食管理卒業後、同大学の家政学部食物栄養科研究室勤務。福岡市のフードプロデュース会社を経て、2005年に独立。レシピ作成、フードコーディネート、料理教室、イベント、レストランなどへのメニュー提案、食育、講演活動など、食と料理の様々な分野で幅広く活動中。





Cooking example



もっちりトロッとした食感に、くるみのカリッと感がアクセント。やさしい甘さであっという間に食べてしまう、秋の美味しさです。

妖精たちがいざなう秋日和

「ファーブルトン」は、フランス北西部のブルターニュ地方の伝統的なお菓子。「ファー」とは、ブルターニュ地方で話されるブルトン語で「小麦粉」のことだそうです。

5世紀頃、ブリテン島からイギリス海峡と大西洋の間にせり出した半島に移住してきたケルト系の人々を「ブルトン人」と呼び、彼らが住む地域を「ブルターニュ」と呼ぶようになりました。ケルト文化が息づき、16世紀までブルターニュ公国という独立国家でした。スイーツとご一緒に、幻想的な妖精譚で知られるケルトの物語で、ロマンあふれる秋を。



母家

いちじくのファーブルトン
レシピはウェブでご紹介しています

https://e-kaiken.com/sain/omoya/

SAIN ESSAY

地球の恵み 自然の恵み

私たちKAIKENが大切にしている企業理念、地球環境蘇生。

「蘇生」ということは、つまりは蘇らせるということ。地球環境が危機に瀕していることは、誰もが理解していることで、私たちはその地球で暮らしながら命を繋ぐ役割を担っています。失われゆく環境を守り、そして蘇生させていく、その行動を日常の暮らしの中で、当たり前に、ごく自然に体現していきたい、そんな思いが私たちの日々の原動力となっています。

私たちが生み出している製品はまさに、地球環境、自然環境の恩恵が無くては成り立ちません。言い換えれば、どれだけ感謝しても足りないくらい、助けられてきたのです。もちろんそれはこれからの未来も、隣で寄り添い合っていくことに変わりはなく、完全調和の関係性と言えるでしょう。

但し地球の環境は有限です。後先考えずに消費し続ければ、いつかは衰退します。この事実も当たり前に皆が理解していると。だからこそ、循環させながら生命を育むためにはどうすればいいのかを常に心に留め、私たちはその道を歩むこと、そして壁にぶつかっても諦めずに限界努力を行い、突破口を切り拓くことに躊躇(ためら)いを見せてはならないと考えます。

大きい小さいは関係なく、生命の循環を生み出すことに繋がる行動を日々選択し続けること。そこから生まれる波長がいつか地球全体を包み込んでくれることを心から願っています。

自然の在り方に感化され、感謝し、守り通していく。そして未来へと繋げていく。その概念を基準においた選択が大前提。地球環境の蘇生、一企業単体で見ると途方もない冒険だと思うけれど、自然環境に礼を尽くし、諦めずに一歩ずつ踏み出してチャレンジを積み上げることで道は拓けていく、そう信じ抜くことが大切だと思っています。



浦上 日章
Text by
Urakami Nissho

無添加というだけでは健康住宅と言えない？

無添加という言葉を聞いて皆様はどのように感じられますか？「添加物が入っていないので体に良く健康になれる」と感じられる方がほとんどではないでしょうか。実際、添加物が多く使われているより、出来る限り入っていないほうが体に良いことは間違いないでしょう。しかし「無添加」という表示は、添加物が一つでも入っていなければ、無添加として商品が出せるという曖昧な定義のもとにあります。

例えば、合成着色料を使用していない商品であれば、防腐剤が入っていてもその商品は無添加商品といえるのです。食品はもちろん、石鹸やシャンプー、化粧品など私たちが口に入れるものから肌に直接ふれるものに「無添加」という言葉を目にしていることでしょう。その中で「全成分無添加」という商品、ましてや原料もすべて無添加という商品などは見ることは少ないと思います。いえ、ほとんどないでしょう。

では、全ての原料・成分が無添加であれば安全なのでしょうか？

また、私たちが日々住まう家を考えたときはどうでしょうか。やはりすべて無添加とは言えません。住宅の内部を可能な限り木や漆喰などの自然な材料で作ったとしても、お風呂、キッチン、トイレ、サッシ、換気扇、照明などの設備機器は化学建材になるでしょうし、木の表面は何か塗っているのではないか、また塗っている場合、その塗料は安全なのか、使用されている接着剤・防蟻剤は大丈夫なのかなど。さらに木の原産国はどこなのか？　素材は天然そのままなのか？　内壁の材料は？　などなどたくさんの疑問が生まれてくるでしょう。

また、全くの自然のものであっても、木を糊で固めた集成材であっても、海外から入ってきて薬品づけになっていても、表面に何か塗ってあっても、防腐剤や糊が使用されている珪藻土も、自然素材がひとつでも入っていれば、その商品は全て自然素材という枠の中にくくられてしまいます。家においては「自然素材」＝「無添加」というイメージも強いでしょうが、どちらにしても定義は曖昧なのです。

それでも出来る限り自然に近い無添加といえる家を建てたとして、安全で健康であるといえるのでしょうか。花粉症やアトピーなど、何かしらのアレルギーを持つ人口は3分の1以上ともいわれ、シックハウス症候群や化学物質過敏症も増えている現在は、食べ物や水、日用品だけでなく、家づくりにおいても家族や自分の体のために健康を考えている方が多くなっています。

ビニールクロスが主流だった壁も、和紙や漆喰・珪藻土などの呼吸する素材が増え、合板使用の新建材から天然無垢材の床が増え、化学建材から発生するガスをなくそうと無添加で健康的な素材が選ばれるようになりました。しかし、本当の健康住宅かどうかの判断も難しいし、無添加なだけでは健康な家とは言い切れないのです。

生活をしていく上で必要なもの、家具・家電・衣類などの生活必需品なくしては、ほとんどの方が不便と思われることでしょう。では、家具・家電・衣類などの生活必需品から化学物質のガスが放散しているこ とはご存知でしょうか？　それらを無添加の家にいれてしまうとどうなるか…。もう答えはお分かりですね！　そうです、無添加の家は放散されたガスを吸収してしまい、今までと同じ不健康な家になってしまうのです。

では、どうすれば本当に健康な住宅をつくることができるのでしょうか？　そのためには、様々なものから放散されているガスをきれいな空気に変えていく必要があります。そうすることで、本当に健康な住宅が生まれるのだと考えています。

私たちが理想とする「きれいな空気」とは、自然の力が生み出す空気です。森の緑の中や海を見晴らす砂浜で、私たちは「空気が気持ちいいなあ」と感じます。それは、日頃はつい忘れてしまっている「人も自然の一部」ということを思い出すから、なのだろうと思います。

自然の中で感じる「気持ちのいい空気」を住空間でも感じることができたなら、いちばん居心地のいい家になるのではないだろうか…。そんな思いから「家は、空気で建てる」という発想が芽吹き、自然の息吹が香る気持ちのいい空気の中で、ご家族の心と体に幸せが満ちていき、いつまでも心地よい日々をお過ごしいただける「空気がうまい家」が生まれました。

私たちは、いつまでも心地いい空気環境の住まいで、ご家族が心も体も健やかにお過ごしいただける暮らしを、ご提案していきたいと考えています。





幻の漆喰®



天然の空気清浄器

有明海の赤貝や銀杏草（海藻）などを使った完全天然素材の壁材。光と熱に反応する独自の光熱触媒作用を持ち、半永久的に室内の化学物質や有害物質を吸着・分解して住空間の空気を清浄に保ちます。ホコリも減ってお掃除もラクに。

幻の漆喰®
ピュアケアウォール®



幻の漆喰を塗りやすくモダンに

鉱物を原料とした天然素材を使用し、光熱触媒の技術で生成。原型となる幻の漆喰と同じく、化学物質の分解力に優れ、さらに今後の左官職人不足にも対応できるよう、塗りやすく仕上げています。

幻の漆喰® そとかべ



光熱触媒作用で
「経年美家」を実現

外壁専用の幻の漆喰「そとかべ」は、光熱触媒技術を利用して汚れやすい外壁材をクリーンに保ちます。耐水・耐熱・耐変色・耐緑色化および耐カビ試験により、強靭さや耐久性を証明。時と共に味わいを増す「経年美家」の住まいを実現します。

音響熟成®木材



免疫力をアップする木「財」

南九州産の杉を、クラシック音楽を聴かせながらじっくりと常温で音響熟成したこだわりの木材です。木が本来持っている油分やエキスが残り、防菌・防カビなどの作用に加え、人間の免疫力をアップする働きがあるとされています。

音響熟成®木材
うづくりの床



素足にやさしく心地いい床材

「うづくり」とは、木の年輪を浮き上がらせる加工法。自然な凹凸が足裏を心地良く刺激して血行を良くし、冷え症の方もご安心頂け、こどもたちの扁平足予防にも効果的です。また、凹凸が室内の光を拡散して目に優しく、眼精疲労を和らげます。

竹炭入り清活畳®



さわやかで清々しい
健康的な空間に

６畳２間でドラム缶１本分の竹炭が入った「清活畳（せいかつだたみ）」。竹炭は化学物質を吸着する能力が備長炭よりも優れるとされています。い草の爽やかな香り・肌ざわりが、すがすがしい空間をつくります。

最新情報はWEBサイトで

自然を楽しみながら暮らしたい方、自然素材から生まれる住むほどに愛着がわく心地いい家づくりをお考えの方、花粉症やアレルギー、シックハウスなどでお悩みの方、ぜひご覧ください。

アクセスはこちらから ☞
https://www.e-kaiken.com



自然を楽しむ暮らしの知恵をみんなでシェア

自然に学ぶ　自然を楽しむ
自然発信基地

それぞれのみなさまの暮らしをご紹介

私たちの空気がうまい暮らし

SAiN 読者アンケート　ぜひアンケートにお答えいただき、プレゼントご応募ください！

ご愛読いただきありがとうございます。これからも読者の皆様にますます喜んでいただける情報誌『SAiN』にしていくために、どうぞアンケートにご協力をお願いいたします。お名前・生年月日・性別・ご住所・TEL・職業・『SAiN』裏表紙に記載されている「正規取扱店名」をご記入の上、アンケートにお答えいただき、下記宛先までご応募ください。下のアンケート専用ハガキ・WEBでもご応募できます。

Q1 『SAiN』を知ったきっかけは？
①セミナー　②見学会・展示会　③DM　④友人・知人からの紹介　⑤その他

Q2 「健康住宅」のイメージは？

Q3 いちばん印象に残った記事は？（番号をご記入ください）
①表紙　②P1. はじめのSAiN　③P2. 目次　④P3・4. [特集]OPEN HEART こころひらける暮らし 沖縄篇3　⑤P5・6・7・8. 全国体感録（鹿児島県 薩摩川内モデルハウス）　⑥P9・10. 施主 渋谷浩一郎様エッセイ　⑦P11・12・13. おもやの食卓　⑧P14. SAiNエッセイ　⑨P15.「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない？　⑩P16. KAIKENブランド　⑪P17. こだわりプレゼント　⑫P17. 編集ほのぼの後記　⑬裏表紙　⑭その他（　　）

Q4 役に立つと思われる記事はどれですか？（「Q3」の番号よりお選びください）

Q5 今後取り上げてほしいテーマ　**Q6 『SAiN』へのご意見・ご感想**

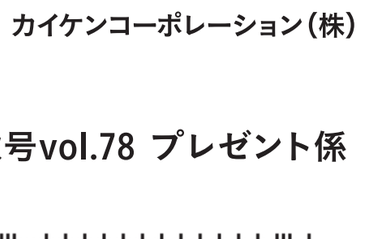
Q7 ご希望のプレゼント番号とプレゼント名（第1・第2希望まで）

ご応募締切 2023年11月19日 当日消印有効

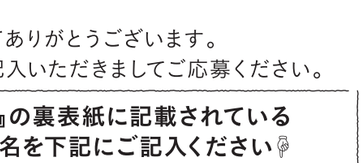
●ハガキ応募先 〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5
カイケンコーポレーション（株）「SAiN」秋号vol.78 プレゼント係
●WEB応募先アドレス ＊スマートフォンは右のバーコードから☞
https://fkfb.f.msgs.jp/webapp/form/21221_fkfb_2/index.do
※ご当選者の皆様の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

アンケート専用ハガキの使い方

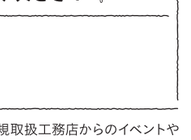
1 ハガキにご記入いただいた後、切り取り線に合わせて、ハガキを切り取ります。



2 切り取ったハガキを山折りにし、中面にのりをつけ、貼り合わせます。



3 記入漏れがないか確認いただき、郵便ポストへ投函ください。



こだわりプレゼント

※ご応募締切 2023年11月19日（日）



1 音響熟成木材 手づくり テーブルセット　1名様

音響熟成木材手づくり家具の中でも人気が高い、テーブルと椅子のセット。使い込むほど木肌がなめらかになり、美しいツヤも出て、時とともに愛着が増していきます。写真のデザインで、寸法調整につきましてはご対応させていただきます。
※当選者様決定後の製作となります

2 音響熟成木材とコハルライトのコラボライト

特製和紙シートを組み立てると、桜の花びらが立体的にうきあがる素敵なインテリア照明器具「コハルライト」。さくら色と電球色に切替でき、2つの違う雰囲気が楽しめます。このコハルライトと音響熟成木材の手づくりスタンドをセットにした特別コラボアイテムです。



2名様

3 オーガニックワイン リースリング ベーレンアウスレーゼ 白　3名様



特別な年にだけ作られる、オーストリア・クレムスタールのデザートワイン。淡くゴールドを帯びて輝くイエローの色。華やかで甘い気品が漂う、熟してとろけそうな果実の香り。そして、幸福な余韻を長く残す、上品で繊細な甘口の味わいがお楽しみいただけます。

4 米粉マフィン コトリエ マフィン詰め合わせ

宮崎で空気がうまい家づくりを行われている建築工房結さんの体感スペース「kotorie」から届けられる米粉マフィン。国産米粉と卵、植物油、きび砂糖をベースに、添加物は最小限に抑え、無農薬や減農薬の野菜やフルーツを組み合わせて、丁寧に焼き上げられています。



5名様

ご当選者の皆様の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

編集ほのぼの後記

物事が大きく動く時、そのエネルギーに引っ張られ連鎖するかの如く、良くも悪くも、様々な出来事が重なって起こってしまう。大なり小なり、皆様にもそんな経験はございませんでしょうか？ 良い事が重なれば言うこと無しなのですが、逆のパターンが起こると中々に厄介ですよね。ただ、そんな中でも必死にどうにか乗り越えようと努力を重ねていけば、その先には人間としての「成長」が待っていることも事実だと思います。今まさに、そんな状況にぶち当たっています。壁を乗り越えた先に何が待っているのか、それを楽しみに出来るような、強い心を育てていけるよう、一日一日を大切に積み重ねていきたいと思います。

チロクロ日記

チロルくんが再び病院のお世話になりました。

少し時間は掛かっておりますが、少しずつ経過も順調に回復へと向かっています。自分自身を含め、生きとし生けるもの、健康が一番だとつくづく思います。「心身一如」体も心も、両方をしっかりと整えて、まずは幸せな日常をしっかりと守り抜いていきたいですね。

それではまた次回のSAiNにて。ご拝読ありがとうございました。





SAiN編集部 浦上日章

キリトリ

（フリガナ）　生年月日　年　月　日

お名前　性別（男性・女性）

ご住所　〒

お電話

Eメール　メールマガジン配信 □希望 □希望しない

ご職業　会社員・公務員・自営業・学生・主婦・その他

『SAiN』を知ったきっかけは？（番号を○でお囲みください）
① セミナー　② 見学会・展示会　③ DM　④ 友人・知人からの紹介
⑤その他（　　）

「健康住宅」のイメージは？

いちばん印象に残った記事は？（番号を○でお囲みください）
①表紙　②P1. はじめのSAiN　③P2. 目次　④P3・4. [特集]OPEN HEART こころひらける暮らし 沖縄篇3　⑤P5・6・7・8. 全国体感録（鹿児島県 薩摩川内モデルハウス）　⑥P9・10. 施主 渋谷浩一郎様エッセイ　⑦P11・12・13. おもやの食卓　⑧P14. SAiNエッセイ　⑨P15.「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない？　⑩P16. KAIKENブランド　⑪P17. こだわりプレゼント　⑫P17. 編集ほのぼの後記　⑬裏表紙　⑭その他（　　）

役立つと思われる記事は？☝上の質問の回答番号よりお選びください＜　＞

今後取り上げてほしいテーマ

『SAiN』へのご意見・ご感想

ご希望プレゼント番号とプレゼント名をご記入ください　第1希望　第2希望

※アンケートにご協力ありがとうございました。ご当選者様の発表は発送をもって代えさせていただきます。

山折り

料金受取人払郵便
城南局承認
309
差出有効期間 令和4年4月1日から令和6年3月31日まで ＜切手不要＞

郵便はがき

814-0190

福岡市早良区野芥2-27-5
カイケンコーポレーション（株）

『SAiN』秋号vol.78 プレゼント係

ご愛読頂きましてありがとうございます。
アンケートにご記入いただきましてご応募ください。

この『SAiN』の裏表紙に記載されている正規取扱店名を下記にご記入ください☝

※お預かりした個人情報は、カイケンコーポレーション（株）と正規取扱工務店からのイベントや見学会のご案内、本やプレゼント発送、アンケート集計以外には利用いたしません。尚、お客様の個人情報は厳重に管理し、第三者に譲渡することはございません。

キリトリ

KAIKEN corporation
◎お問い合わせはフリーダイヤルでお気軽に（9:00〜17:00 ※土日祝／休）カイケンコーポレーション株式会社
0120-874-814
●本社／〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5
●電話／092(874)6110 ●FAX／092(874)6113
◎最新情報はWEBサイトでどうぞ　https://www.e-kaiken.com　カイケンコーポレーション



●「空気がうまい家」「音響熟成木材」「幻の漆喰」「幻の漆喰ピュアケアウォール」「清活畳」はカイケンコーポレーション株式会社の登録商標です。●商標登録「空気がうまい家」登録第5700454号取得／「音響熟成木材」登録第4739348号取得／「幻の漆喰」登録第4739347号取得／「幻の漆喰ピュアケアウォール」登録第5672190号取得／「清活畳」登録第4827042号取得●「空気がうまい家」「音響熟成木材」「幻の漆喰」「幻の漆喰ピュアケアウォール」「清活畳」は正規取扱店でのみお取り扱いしています。類似品にご注意ください。お取扱い工務店等はWEBサイトでお確かめいただけます。

SAiN 2023 AUTUMN ISSUE vol.78　発行●カイケンコーポレーション株式会社　〒八一四〇一七一福岡市早良区野芥二の二七の五　電話〇九二(八七四)六一一〇
©KAIKEN Co. All Rights Reserved.
【季刊】年4回・3月・6月・9月・12月発行
※無断転載・複製を禁じます



お問い合わせは●カイケンコーポレーション健康自然建材 正規取扱店